

# 平成26年度 当初予算要求の概要

局・区名 危機管理室・防災計画室

要求総額 425 百万円

(対前年度予算 + 34 %)

## 局区予算要求方針

東日本大震災による教訓に基づいた津波避難対策をはじめ、地域防災計画修正やBCP計画策定、自主防災組織支援など、自助・共助・公助の役割分担を踏まえた防災・減災事業に取り組んできました。平成26年度においても、これまでの事業を継続、発展させるとともに、より実践的な訓練実施など災害に強いまち塚を実現するための事業を実施していきます。その中でも、災害時に市民の命に直結する津波や土砂災害等区域への情報伝達強化と発災直後の避難者の生活を支える備蓄物資の充実について重点的に取り組みます。また、東日本大震災における被災地への職員派遣や市内避難者へのサポートなど、ニーズに応じた、きめの細かい支援を実施します。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

## 重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

### 1 防災行政無線の整備拡充

- 津波、土砂災害等の危険箇所への防災スピーカー等の新設 15 百万円  
取組内容 津波災害、土砂災害警戒区域等の可聴困難地域への防災スピーカー、モーターサイレンの新設等
- 停電時におけるモーターサイレン起動用バッテリーの整備 65 百万円  
取組内容 停電時は稼働できないモーターサイレンの内、津波浸水影響エリアの25か所に停電時起動用バッテリーを26、27年度の2か年で整備

### 2 備蓄物資の拡充

- 非常用食糧の備蓄の拡充 18 百万円  
取組内容 災害発災直後の緊急対応時（3日間）における避難者への緊急物資の供給対応力を向上させるため、食糧備蓄を1食分から3食分に拡充
- ◎ 指定避難所及び福祉避難所用の生活物資等の新規整備 21 百万円  
取組内容 生理用品、おむつ、非常用バッテリー等の避難所生活における生活必需品や避難所運営資器材を新たに整備

### 3 大規模災害被災地等支援基金の活用

- 任期付職員の被災地派遣 31 百万円  
取組内容 岩手県宮古市、大槌町、宮城県石巻市に任期付職員を派遣
- 市内避難者支援事業 5 百万円  
取組内容 相談窓口の設置、避難者交流会、里帰りバス、自宅訪問サポート等の事業を実施

## 主な行財政見直し項目

- ・事務的経費の精査による見直し